



帯広東ロータリー・クラブ会報

[2019-2020年度]

会長/加藤 武志 幹事/角 高紀 会報編集 メディア委員長/加藤 昭治

■創立：1984年6月15日 ■認証：1984年6月18日 ■例会日：毎週火曜日 12:30～13:30
■事務局：〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.(0155)25-7347 ■例会場所：ホテル日航ノースランド帯広 Tel.(0155)24-1234

第1673回例会 (令和元年9月17日) 於 ホテル日航ノースランド帯広

点 鐘 加藤 武志 会長
開 会 宣 言 西田 重人 S A A

ゲスト紹介 加藤 武志 会長
北海道中札内高等養護学校 校長 平井 孝和 様
" 進路指導部教諭 小林 啓 様

ビジター紹介 加藤 昭治 副会長
帯広南ロータリークラブ カウンセラー 竹部 義弘 様
米山奨学生 バーナード・エ・ファンタス・グマ 様
帯広畜産大学 博士課程2年目
アフリカ ケニア出身 31歳



会長挨拶

加藤 武志 会長



皆さんこんにちは。朝夕はすっかり涼しく秋めいて来ましたが昨日は敬老の日で全国に65歳以上の人が3588万人、全体の28.4%を占めると新聞にありましたが68歳の私も仕事に学び、ロータリーに学び地域社会に学んでこれからも頑張って現役を通して行きたいものと思った1日でありました。さて昨年9月北海道は2日間のブラックアウトを経験しましたがたったの2日でも電気が無いのは不安と不便の初めての経験であったと覚えています。この度は千葉県を中心に台風

15号の直撃で1週間以上今日現在も約7万戸の家庭で停電が続いており心からお見舞いを申し上げます。東京電力初め全国の電力会社から1万6千人～2万人体制で不眠不休の復旧工事にあっているという事ではありますがその中でも60歳以上の人も多くいるのではないかとそちらの方も心配をしているところですが、本当にもどかしいというか何とかならないのかという気持ちでいっぱいです。今朝も会社に来る途中、道路の電柱と電柱の間に街路樹が沢山ありましたが今回は送電経路全般と倒木、地域のインフラが破壊され自衛隊と電力会社、各自治体を中心に民間ボランティア、地域住民も入った復旧作業に1日も早い通常生活を心から願う次第であります。さて高圧電力の鉄塔も電柱も送電システムについては板倉会員がご専門であります、私の仕事であるサッシ、ガラス工事も建築基準法(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築工事監理指針)に定められた耐風圧強度を元に計算して、それにあったモノで設計施工していますが以前は、昭和9年の室戸台風時の高知県室戸岬に於ける最大瞬間風速(計測不可能毎秒65m以上)を基にしていたが、平成12年に建築基準法が改正され全国の気象観測データに基づいて、定めた全国を9区分に分類して建造物の高さも含め新基準法が定められました。建設に係る時間、工期と経済コストが大幅に変わり過剰設計、過剰設備は不要と言うわけです。しかし今回の台風15号はそれをはるかに超えた破壊力が働いたという事でそれこそ今後の国の対応、基準値が問われることになると思います。人類は電気の無い歴史が大半であり、私が10歳の頃池田町高島美加登地区の親戚の家に5日間遊びに行ったがその集落に電気は無くそれでも家族7人普通に暮らしていました。が今は無理ですかね?こういう時こそ日本ロータリー2254クラブ、会員数87,544人の力を結集して役立つことが出来ればと念願しております。以上一言会長挨拶とさせていただきます。

①帯広東RC、移動例会(施設見学)開催のご案内

日時 令和元年10月8日(火) 午後0時30分
場所 JICA北海道(帯広)

②RI第2500地区大会(釧路)開催のご案内

日程 令和元年10月11日(金)～10月12日(土)
場所 コーチャンフォー釧路文化ホール
登録料 13,000円

《大会1日目 11日(金)》

記念親睦ゴルフ大会 8:30～ 釧路カントリークラブ

《大会2日目 12日(土)》

登録受付 11:00～ コーチャンフォー釧路文化ホール

本会議→記念講演→本会議 11:50～17:00

8月の九州北部豪雨災害に2500地区がバナーより支援の寄附のお願いについて

週間、卒業後の生活と合わせての実習と、就職試験を兼ねて学びます。仕事で大切な、挨拶、時間を守る、指示を受けたことを丁寧に行うこと、注意を素直に聞くこと、正確に行うこと、てきぱきとやる気をもって仕事をする、必要な物の名前を覚えること、安全に作業を行うこと、状況に合わせて、判断して仕事をする、公共の交通機関を利用できる、いつもと違うルートにも対応できる、食事、身だしなみは、周りの人から見ても問題なく、持ち物管理や掃除など社会に立つ人に、自分が今、しっかりと生活できているかを考える。人間関係は良好であってほしい、思いやり、言葉使いなど、お金や人間関係のトラブルに巻き込まれていないか、巻き込んでいないか、携帯電話からの呼びかけはないか、生活のリズムは大丈夫か、カゼや就寝時間は大丈夫かなど、職業を通してなってほしいとしています。生活で大切なこと、身の回りをしっかりする、自分がいま、しっかりと生活できているかを考えさせています。経営者に望むことは家庭環境を、現場の支えがあれば、その環境作りと何とか目をかけてやってほしいです。

プログラム

上野 敏郎 社会奉仕委員長

【障がいを持つ子どもたちの就労状況について】

講師 北海道中札内高等養護学校 校長 平井 孝和 様



本校は、北海道で3番目で、高校生として就学しながら、かよいと、宿舎にともに寝泊まりをしながら、自立意識を尊重しています。

講師 北海道中札内高等養護学校 進路指導部教諭 小林 啓 様



本校の進路指導の状況などお話しします。本校の現場実習は、1学年は2週間、職場の体験として、本人の希望をどのように取り入れるか、ともに学びます、2

学年は3週間、自分の得意なところや課題を再確認してもらいます、実習して、保護者を入れて自分がどれだけ理解しているかを図ります、3学年は職場5週間、福祉サービスを2



質問に答えます。上野委員長からの質問に回答されました。

謝辞

加藤 武志 会長

閉会宣言

西田 重人 SAA

点 鐘

加藤 武志 会長

次週プログラム予定

令和元年9月24日(火)

「ライラセミナー報告会」(青少年奉仕・ローターアクト委員会)